

平成 27 年度 ごみ処理状況について

富士市環境部廃棄物対策課

平成 27 年度 ごみ処理状況について

3 月末 現在

～ごみ処理総量とともに焼却量についても減少傾向がみられる～

…… 富士市ごみ処理基本計画2015-2024に掲げる目標値の達成状況について、1人1日当たりの排出量は目標値を達成できましたが、焼却量については大きく減少したものの、目標値を達成することはできませんでした。……

1)ごみ処理総量等

※ 平成23年3月15日に発生した静岡県東部地震による瓦礫は下表のデータには含まれていません。
瓦礫総量:4,913t (うち、リサイクルされたもの:4,898t、埋立にまわったもの:15t)

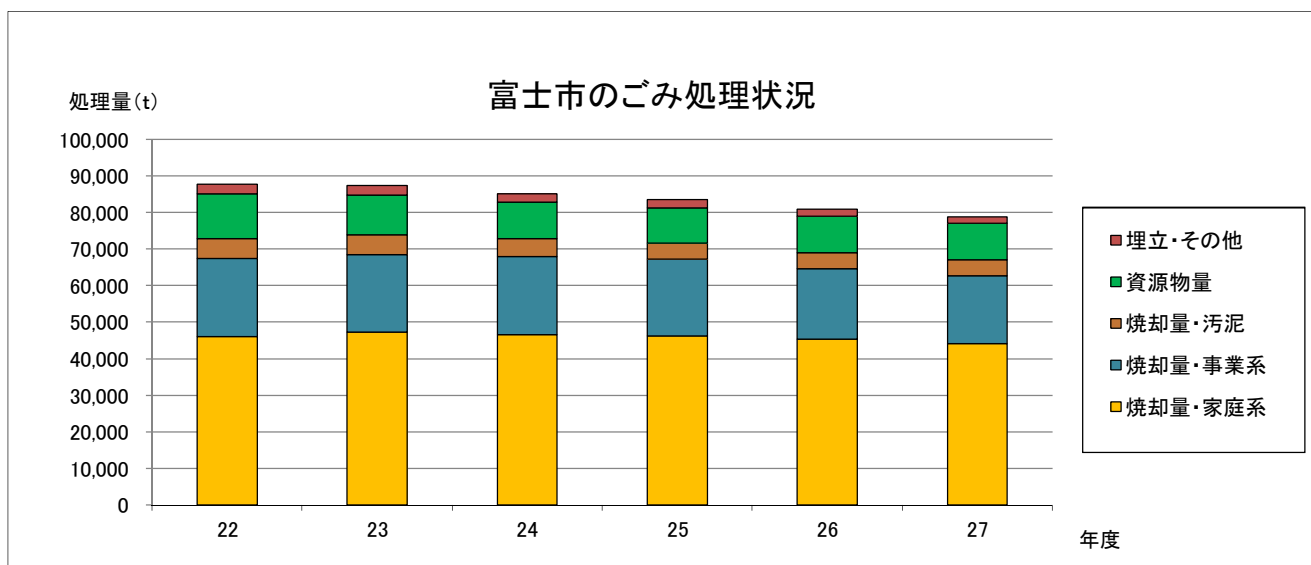
富士市のごみ処理量 (単位:t)

※ 平成24年度のごみ焼却量の中には、東日本大震災による災害廃棄物広域処理分 49tが含まれています。

年度		H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	差引
ごみ処理総量	量(t)	87,724	87,344	85,118	83,432	80,824	78,780	△ 2,044
	増減率(%)		-0.4%	-2.5%	-2.0%	-3.1%	-2.5%	
焼却量	量(t)	72,817	73,907	72,821	71,551	69,071	67,060	△ 2,011
	増減率(%)		1.5%	-1.5%	-1.7%	-3.5%	-2.9%	
家庭系	量(t)	46,130	47,199	46,625	46,152	45,432	44,171	△ 1,261
	増減率(%)		2.3%	-1.2%	-1.0%	-1.6%	-2.8%	
事業系 その他	量(t)	21,356	21,289	21,253	21,046	19,188	18,534	△ 654
	増減率(%)		-0.3%	-0.2%	-1.0%	-8.8%	-3.4%	
下水・し尿汚泥	量(t)	5,331	5,419	4,942	4,353	4,451	4,355	△ 96
	増減率(%)		1.7%	-8.8%	-11.9%	2.3%	-2.2%	
資源物量 *3	量(t)	12,242	10,824	9,923	9,642	9,969	10,014	45
	増減率(%)		-11.6%	-8.3%	-2.8%	3.4%	0.5%	
埋立・その他 *1	量(t)	2,665	2,612	2,375	2,239	1,784	1,706	△ 78
	増減率(%)		-2.0%	-9.1%	-5.7%	-20.3%	-4.4%	
ごみ処理基本計画対象量 *2	量(t)	81,987	81,686	79,879	78,609	76,204	74,326	△ 1,878
	増減率(%)		-0.4%	-2.2%	-1.6%	-3.1%	-2.5%	

* 1 直接埋立、破砕埋立、マット・ソファ・罹災物を含む (罹災物については、対前年比で △ 70.0 tと減少。)

* 2 ごみ処理基本計画対象=ごみ処理総量-(下水・し尿汚泥+罹災物) * 3 行政回収量のみ把握(集団回収量等については不算入)



①ごみ処理総量は、78,780 t となり、対前年比で 2.5 % の減少

○前年と比較したごみ処理総量の △ 2,044 t の内訳は、埋立その他で 78 t 減少、資源物量については 45 t 増加、焼却量については 2011 t 減少した。

②環境クリーンセンターでの焼却量は、67,060 t となり、対前年比で 2.9 % の減少

○対前年比で家庭系ごみが、1261 t 減少し、事業系・その他も 654 t 減少している。

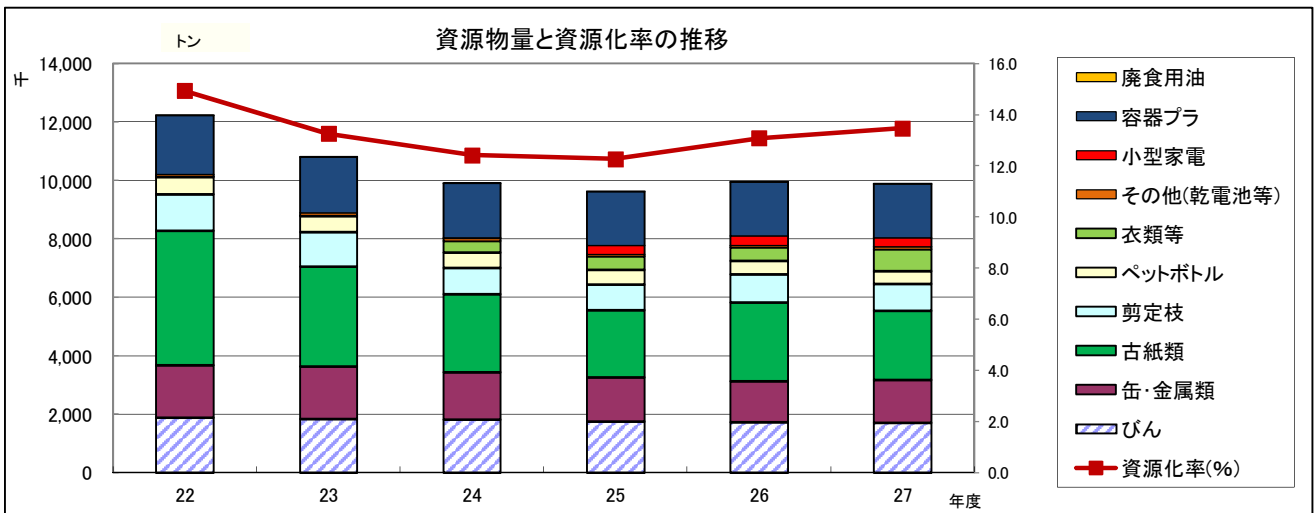
①焼却量の減少により、ごみ処理総量も減少しました。
 ②資源物量は、衣類・布団類を集積所で回収し始めたことにより、前年と比べて増加しました。
 ③環境クリーンセンターでの焼却量は、前年に比べて2.9%減少しました。家庭系焼却量については、全町内会を対象にした分別説明会の実施、および衣類・布団類を資源物として集積所で回収し始めたことにより減少しました。事業系焼却量については、環境クリーンセンターへの搬入検査や収集運搬業者への指導を強化した結果、昨年度に続き減少しました。

2) 資源化物量 (行政回収量のみ)

富士市の資源化物量 (t) と資源化率 (%)

項目 \ 年度	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	差引
資源物総量	12,242	10,824	9,923	9,642	9,969	10,014	45
びん類	1,875	1,847	1,814	1,752	1,728	1,705	△ 23
かん・金属	1,806	1,792	1,626	1,522	1,413	1,462	49
古紙類	4,609	3,408	2,677	2,301	2,694	2,379	△ 315
剪定枝	1,239	1,190	889	870	946	914	△ 32
ペットボトル	601	547	529	506	471	447	△ 24
衣類・小物類 (靴、鞆、ベルト)	19	29	405	443	465	748	283
布団	0	0	0	0	0	112	112
その他 (電池・コード類・蛍光管)	67	82	73	75	71	72	1
小型家電	0	0	36	304	308	310	2
容器プラ (白色トレイ含む)	2,016	1,917	1,857	1,849	1,850	1,838	△ 12
廃食用油	9	13	18	20	22	28	6
資源化率 *1	14.9%	13.3%	12.4%	12.3%	13.1%	13.5%	0.4%

* 1 資源物総量 ÷ ごみ処理基本計画対象量 × 100



- ①資源物総量は 10,014 t で、対前年比で 45 t (0.5 %) 増加した。
- ②ごみ総量が 減少 し、資源物総量は 増加 した。その結果、資源化率は 13.5 % と前年度より 0.4 ポイント 上回った。(ごみ処理総量に対する資源化率)
- ③びん、かん・金属、古紙の主要品目で全資源物量の約8割を占めているが、対前年比でそれぞれ
びん 1.3 % 減少、かん・金属 3.4 % 増加、古紙類は 11.7 % 減少している。
- ④ペットボトル、剪定枝、衣類・小物類、布団類、容器プラ、廃食用油の比較的近年に取り組み出した品目について

○ペットボトル	24	t	(対前年比	5.0	%)	減少している。
○剪定枝	32	t	(対前年比	3.4	%)	減少している。
○衣類・小物類(靴、鞆、ベルト等)	283	t	(対前年比	60.7	%)	増加している。
○布団	112	t	(平成27年度から資源物として回収)			
○容器プラ	12	t	(対前年比	0.7	%)	減少している。
○廃食用油	6	t	(対前年比	25.2	%)	増加している。

- ◇びん類は、少しずつですが減少傾向にあります。
- ◇古紙類は、昨年度から協働型古紙回収制度が始まったものの減少しました。
- ◇減少傾向だったかん・金属類については増加しました。ペットボトルについては、減少傾向で推移しています。
- ◇衣類・小物類については、まちづくりセンターなどの拠点回収に加え、集積所での回収を開始した結果増加しました。
- ◇容器プラについては、今年度はほぼ横ばいで推移しています。
- ◇廃食用油については、小学校が拠点回収先として定着してきており、増加傾向となっています。

3) 富士市ごみ処理基本計画2015-2024目標値との対比

- 富士市ごみ処理基本計画2015-2024に基づく1人1日当たりの焼却量及び資源化率、事業系ごみについて

(単位: g)

年度	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(目標値)						490
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(実績値)	507	519	514	508	501	488
資源化率[%](目標値)						15.0
資源化率[%](実績値)	14.9	13.3	12.4	12.3	13.1	13.5
1人1日当たりの焼却量(目標値)						665
1人1日当たりの焼却量(実績値)	707	718	717	712	688	668
事業系ごみ量[トン](目標値)						18,900
事業系ごみ量[トン](実績値)	21,356	21,289	21,253	21,046	19,188	18,534

※富士市ごみ処理基本計画の更新に伴い、平成27年度から目標値、項目について変更あり。

※目標値との対比においては、し尿汚泥・下水道汚泥・罹災物量は除く。

* 家庭系ごみ1人1日当たり排出量(g) = (家庭系焼却量 + 埋立(罹災物は除く)) (t) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000

* 資源化率(%) = 資源物量 ÷ ごみ処理基本計画対象量 × 100 (資源物量については、行政回収量のみ)

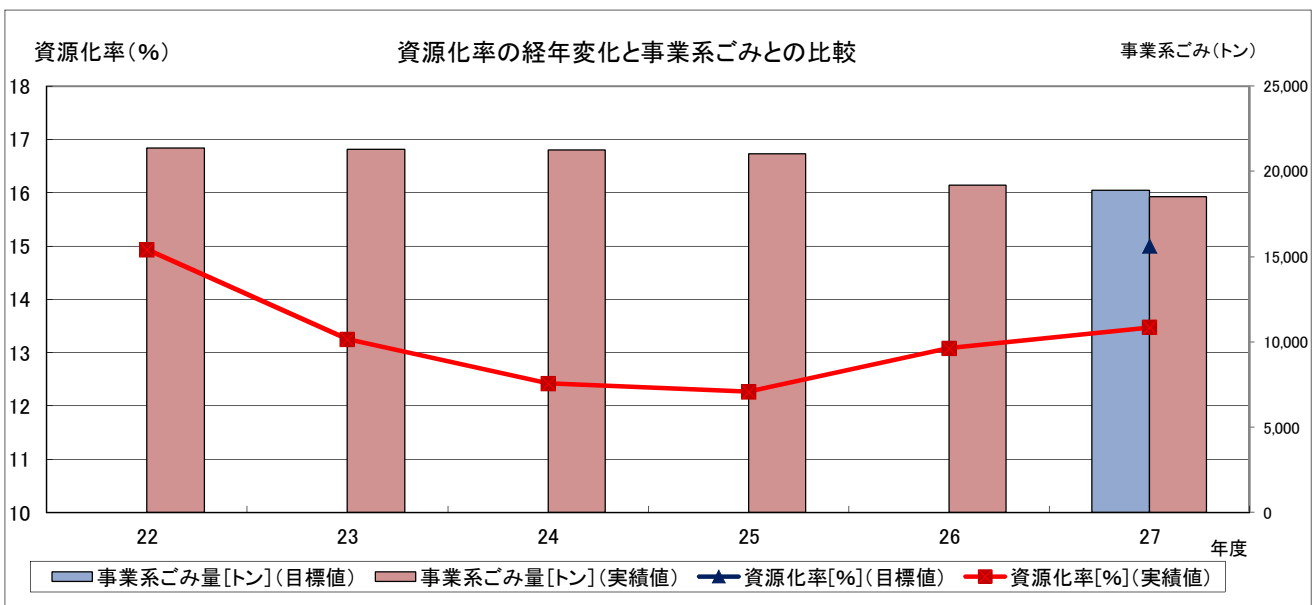
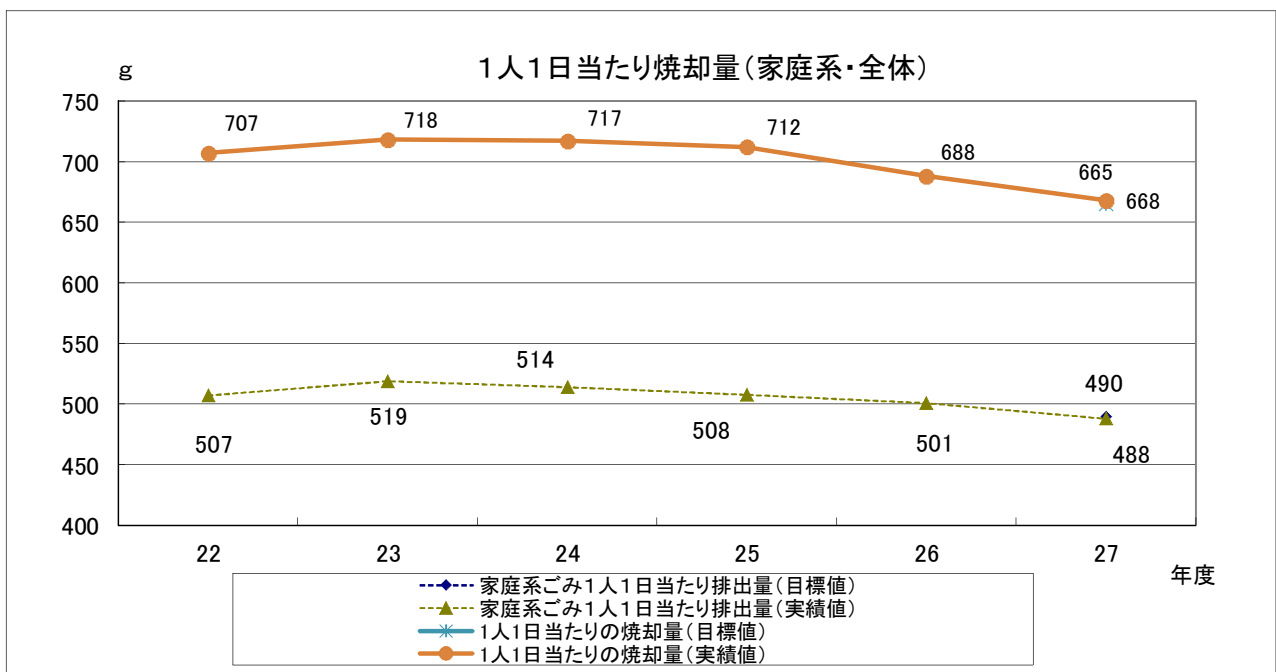
* 1人1日当たりの焼却量(g) = (焼却量(t) - 下水・し尿汚泥(t)) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000

* 富士市人口 256,126 人(3 月末現在)

【ごみ処理基本計画対象値の構成】

(単位 : t)

年度		H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	構成比
項目								
焼却量 (下水・し尿汚泥は除く)	量(t)	67,486	68,488	67,878	67,198	64,620	62,705	84.4%
	増減率(%)		1.5%	-0.9%	-1.0%	-3.8%	-3.0%	
資源物量	量(t)	12,242	10,824	9,923	9,642	9,969	10,014	13.5%
	増減率(%)		-11.6%	-8.3%	-2.8%	3.4%	0.5%	
埋立(罹災物を除く)	量(t)	2,259	2,374	2,078	1,769	1,615	1,607	2.2%
	増減率(%)		5.1%	-12.4%	-14.9%	-8.7%	-0.5%	
ごみ処理基本計画対象	量(t)	81,987	81,686	79,879	78,609	76,204	74,326	100%
	増減率(%)		-0.4%	-2.2%	-1.6%	-3.1%	-2.5%	



①ごみ処理基本計画対象値については 74,326 t となり、対前年比で 2.5 % 減少し、焼却量(下水・し尿・汚泥は除く)についても、 62,705 t となり、対前年比で 3.0 % の減少となった。

○ごみ処理基本計画対象値における焼却量(下水・し尿・汚泥は除く)の構成比は、 84.4 % であり、対前年比で 0.4 ポイントの減少となっている。

○ごみ処理基本計画対象値における資源物量の構成比は、 13.5 % であり、対前年比で 0.4 ポイントの増加となっている。

○ごみ処理基本計画対象値における埋立量(罹災物は除く)の構成比は、 2.2 % であり、対前年比で 0.0 ポイントの増加となっている。

②家庭系ごみの1人1日当たりの排出量は 488 g であり、対前年比で 13 g (2.6 %) の減少となり、目標値 490 g に対して 2 g 下回り、目標値を達成した。

◇目標値に対する割合…… 0.4 % 目標値を達成できた。

③資源化率は 13.5 % であり、対前年比で 0.4 ポイント上回り、目標値 15.0 % に対しては 1.5 ポイント下回り、目標値を達成できていない。(資源物量については、行政回収のみ把握)

④1人1日当たりの焼却量は 668 g であり、対前年比で 20 g (2.9 %) の減少となり、目標値 665 g に対して 3 g 上回っている。

◇目標値に対する割合…… 0.5 % 目標値を達成できていない。

⑤事業系ごみ量は 18,534 t であり、対前年比で 654 t (3.4 %) の減少となり、目標値 18,900 t に対して 366 t 下回り、目標値を達成した。

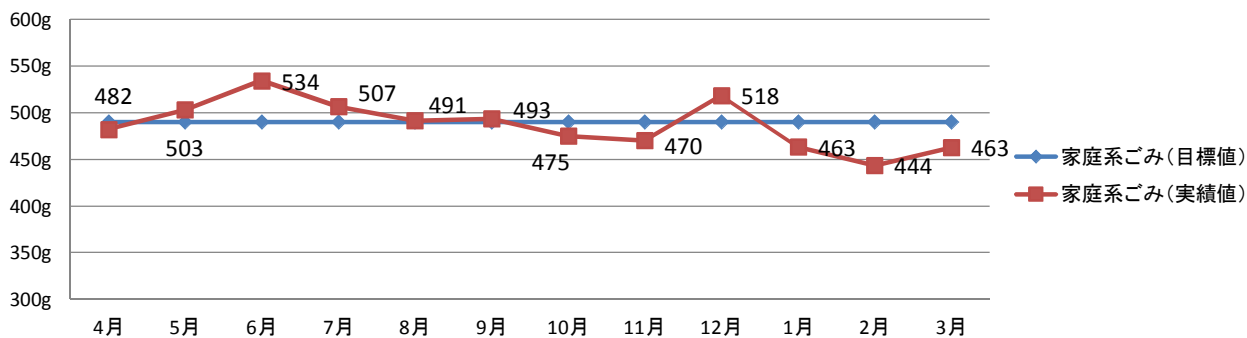
◇目標値に対する割合…… 2.0 % 目標値を達成できた。

● 各月で見た1人1日当たりの排出量と焼却量及び資源化率の達成状況について

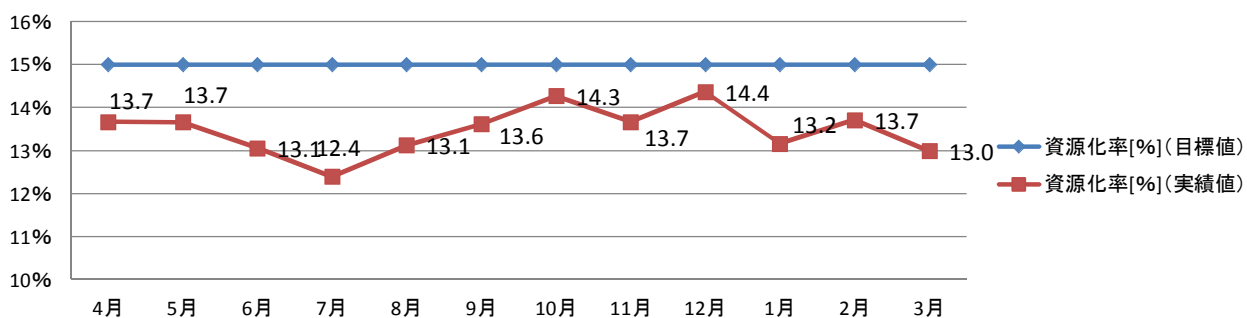
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(目標値)	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490	490
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(実績値)	482	503	534	507	491	493	475	470	518	463	444	463
資源化率[%](目標値)	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
資源化率[%](実績値)	13.7	13.7	13.1	12.4	13.1	13.6	14.3	13.7	14.4	13.2	13.7	13.0
1人1日あたりの焼却量(目標値)	665	665	665	665	665	665	665	665	665	665	665	665
1人1日あたりの焼却量(実績値)	657	671	726	708	682	684	660	653	697	630	631	629
事業系ごみ量(目標値)	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575
事業系ごみ量(実績値)	1,473	1,495	1,605	1,729	1,654	1,595	1,619	1,531	1,607	1,446	1,341	1,439

※ 目標値については、今年度のごみ処理基本計画に掲げる数値。なお、事業系ごみ量については年間の目標値を12で等分したもの

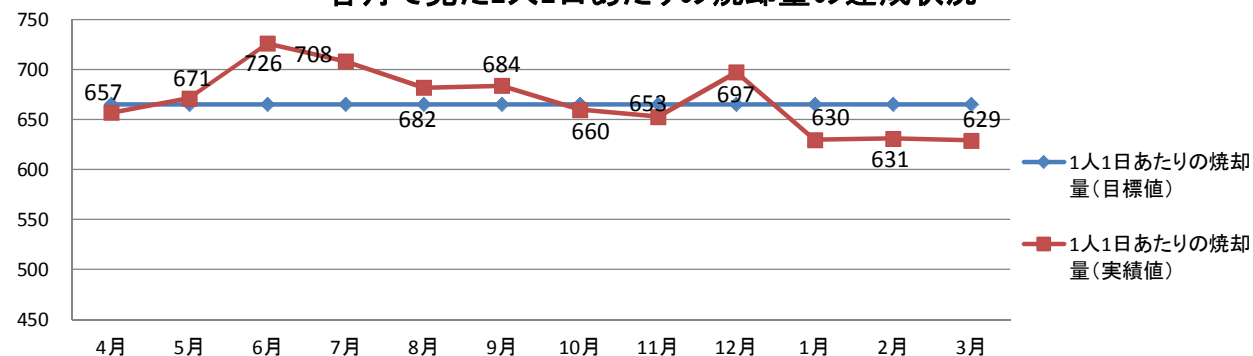
各月で見た家庭系ごみの1人1日当たり排出量の達成状況



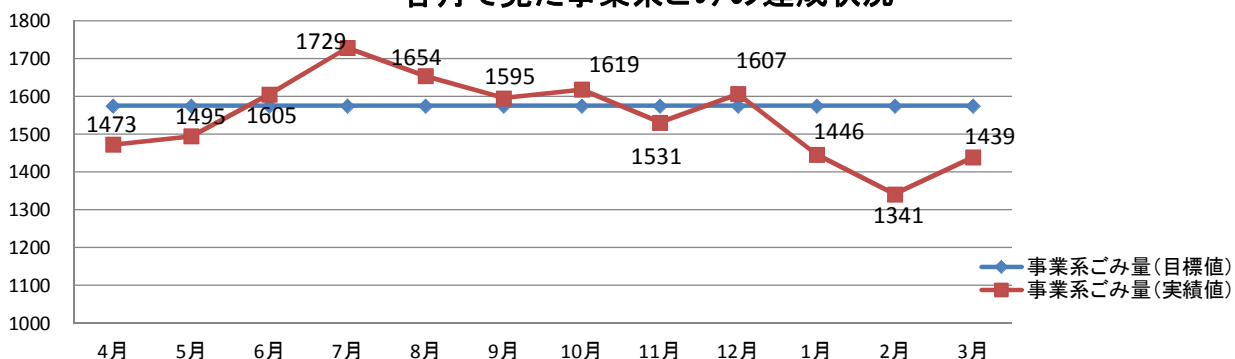
各月で見た資源化率の達成状況



各月で見た1人1日あたりの焼却量の達成状況



各月で見た事業系ごみの達成状況



①家庭系ごみの1人1日当たりの排出量については、5～9月、12月を除き目標を達成している。

②資源化率については、1年を通じて目標を達成していない。

③1人1日あたりの焼却量については、5～8月、12月を除き目標を達成している。

④事業系ごみについては、6～10月、12月を除き目標を達成している。